

第27期東京都自然環境保全審議会第2回鳥獣部会

日 時 令和8年2月2日(月曜日) 午前9時45分～
形 式 WEB会議

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

審議事項

諮問第503号 村山山口鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

3 閉 会

【配付資料】

資料1 村山山口鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

資料2 東京都指定村山山口鳥獣保護区特別保護地区計画書【指定】(素案)

参考資料1 鳥獣保護区及び鳥獣保護区特別保護地区について

参考資料2 村山山口鳥獣保護区特別保護地区調査結果比較表

参考資料3 令和7年度鳥獣保護区生息状況調査委託中間報告書(抜粋)

第27期東京都自然環境保全審議会 鳥獣部会委員名簿

(敬称略)

氏 名	役 職 名 等
石 井 信 夫	東京女子大学名誉教授
入 交 眞 巳	(公社)東京都獣医師会理事 東京農工大学ディープテック産業開発機構特任准教授
田 尻 浩 伸	(公財)日本野鳥の会自然保護室室長
山 崎 晃 司	東京農業大学教授
山 崎 靖 代	東京都森林組合副組合長
相 原 宏 次	(一社)東京都農業会議事務局長
八 尾 明	(公社)東京都猟友会会長

村山山口鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

鳥獣保護とその生息地の保護に特に必要な**村山山口鳥獣保護区特別保護地区**の指定が10月末に期限

概要

- 指定場所 東京都西多摩郡瑞穂町、武蔵村山市
- 面積 136ヘクタール
- 更新期間 R8年11月1日～R28年10月31日(20年間)
- 根拠法令 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第1項
- 指定目的 (地区の特色)
 - ・ 村山山口貯水池に隣接するアカマツ、ヒノキ等の針葉樹林とコナラ、エゴノキなどの広葉樹林で構成される貯水池林
 - ・ オオタカやハイタカをはじめ多くの野鳥の生息地として特に重要
- 指定による制限
 - 区域内は狩猟・開発行為禁止



オオタカ

○保護に関する方針

- ・ 鳥獣の生息に必要な自然環境を保全
- ・ 生息及び繁殖する多様な野生鳥獣の保護を図る
- ・ 指定10年後に、モニタリング調査を実施



樹林地の景観



一 凡 例 一

-  鳥獣保護区
-  鳥獣保護区特別保護地区

鳥獣保護区及び特別保護地区について

区域	目的	制限	審議会	指定	箇所数
鳥獣保護区	鳥獣保護	狩猟禁止	新規指定・区域拡張する際は、審議会付議	都	39
				国 ※	8
特別保護地区	鳥獣保護・生息地の保護	狩猟・開発行為禁止	新規指定・区域拡張・期間延長する際は、審議会付議	都	8
				国 ※	6

※国際的・全国的な鳥獣保護のため鳥獣保護管理法に基づき国が指定
 ・小笠原諸島（世界自然遺産）、葛西沖三枚洲（ラムサール条約湿地）等

番号 特別保護地区

① 高尾

② 奥多摩湖

③ 御岳

④ 奥多摩

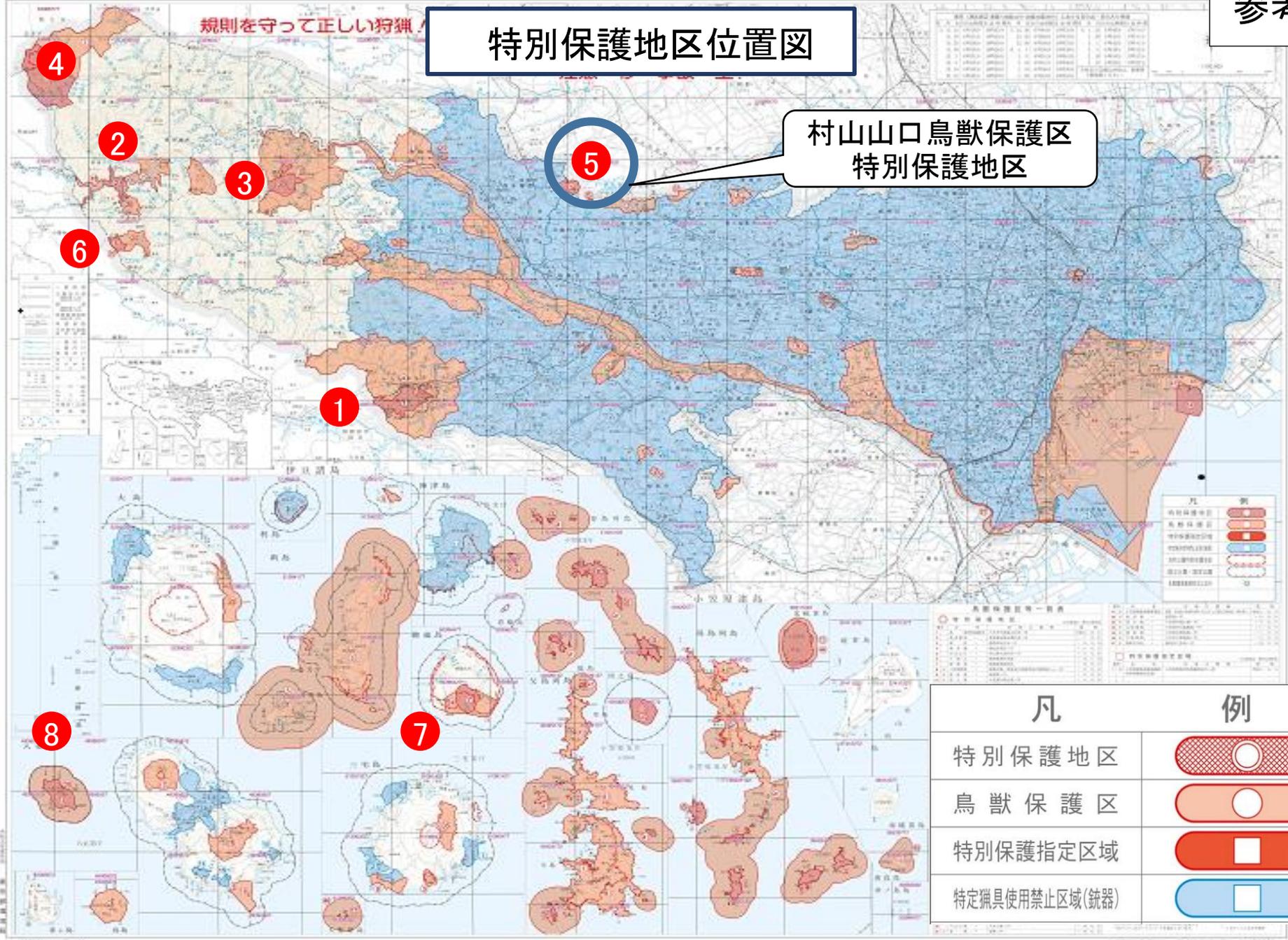
⑤ 村山山口

⑥ 三頭山

⑦ 御蔵島

⑧ 八丈小島

特別保護地区位置図



村山山口鳥獣保護区特別保護地区指定までの流れ

指定計画書（素案）作成

地区概要や鳥獣生息状況をまとめ、指定計画書（素案）作成

鳥獣部会（1回目：2月2日）

指定計画書（素案）の検討

意見照会

関係地方公共団体等※へ意見照会
 ※市、町、観光協会、猟友会、森林組合、野鳥の会、水道局、農協

公告・縦覧（6月予定）

公告・縦覧（期間：14日間）

鳥獣部会（2回目）

意見照会等を踏まえ、指定計画書（素案）検討

本審議会

鳥獣部会での結果を報告

環境省へ届出

公示しようとする30日前までに、環境省へ届出書提出

指定公示

東京都広報に掲載、公示

東京都指定村山山口鳥獣保護区
特別保護地区計画書
【指定】

(素 案)

令和 8 年 月

東 京 都

1 特別保護地区の概要

(1) 特別保護地区の名称

村山山口鳥獣保護区特別保護地区

(2) 特別保護地区の区域

別紙のとおり

(3) 特別保護地区の存続期間

令和8年11月1日から令和28年10月31日まで(20年間)

(4) 特別保護地区の指定区分

身近な鳥獣生息地の保護区

(5) 特別保護地区の指定目的

当該地域は、西多摩郡瑞穂町及び武蔵村山市にまたがる狭山丘陵地帯に位置しており、東京都水道局山口貯水池に隣接する貯水池林である。一帯は、アカマツ、ヒノキ、スギ等の針葉樹林とコナラ、ネコシデ、エゴノキ等の広葉樹林で構成されており、多種多様な野鳥及び獣が生息している。この中には、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において、国内希少野生動植物として指定されているハヤブサも確認されている。

当該地域は、昭和44年に特別保護地区として指定されており、引き続き良好な鳥獣の生息環境を保全するため、法律第29条第1項に基づく特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣の生息地の保護を図るものである。

2 特別保護地区の保護に関する方針

当該区域は、都立狭山自然公園に指定されているとともに、一帯の自然度の高い樹林地は、貯水池林として東京都水道局により良好に管理されている。しかしながら、外周には狭山丘陵ハイキングコースや都立野山北・六道山公園が整備されており、野外活動が活発な区域であるため、特別保護地区内の鳥獣の安定的な生息に影響を及ぼすことのないよう、より静寂な環境の保持に務める。

さらに、工作物設置、木竹の伐採等の開発行為を指導監督し、鳥獣の保護及び繁殖地の保全に著しい支障が生じることのないように努める。

3 特別保護地区の区域に含まれる土地の地目別面積及び水面の面積
別表1のとおり。

4 指定区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該区域の概要

ア 特別保護地区の位置

特別保護地区は、瑞穂町の東部および武蔵村山市の北部に位置し、瑞穂町の北端は埼玉県入間市に、武蔵村山市の北端は所沢市に接している。当該地域は、埼玉県指定の狭山湖特別保護地区と隣接し一体となって727ヘクタールの特別保護地区を形成している。

また、当該地域は都立自然公園に指定され、さらに貯水池林になっている。

イ 地形、地質など

当該地域は、砂層、泥岩層、砂礫層などからなる上総層群とよばれる新生代第三紀末から第四紀洪積世に形成された地層が分布し、表面は、火山灰からなる関東ローム層と段丘礫層からなっている。

ウ 植生の概要

森林植物帯は、アカマツ、ヒノキ、スギ等の針葉樹林とコナラ、ネコシデ、エゴノキ等の広葉樹林の植生に恵まれている。また、隣接地内には、水面も多く鳥獣の生息に非常に適しており、その種類も極めて多く、生息環境としての植生の保全が必要である。

エ 動物相の概要

当該地域に生息または利用する野鳥の種類は猛禽類も含め豊富で、特定外来生物をのぞいた鳥類39科99種、獣類4科4種が確認されている。確認種の多くはヒヨドリやヒタキ類、カラ類といった樹林性の種であり、サギ類やカモ類等の水辺性の種は一時的な利用をしているものが多い。

(2) 生息する鳥獣類

別表2、3のとおり。

(3) 当該区域の農林水産物の被害状況

当該地域は、東京都水道局管理の農林地がないことから鳥獣による農林水産物への被害は生じていない。

5 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 32 条の規定による補償に関する事項

当該区域において、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 32 条に規定する損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失の補償をする。

6 維持管理に関する事項

鳥獣保護区用制札、案内板を設置していく。

別表1 特別保護地区の面積内訳

◆ 形態別面積内

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
総面積	ha	ha	ha	136 ha	0 ha	0 ha	ha	ha	ha
林野	ha	ha	ha	133 ha	0 ha	0 ha	ha	ha	ha
農耕地	ha	ha	ha	0 ha	0 ha	0 ha	ha	ha	ha
水面	ha	ha	ha	0 ha	0 ha	0 ha	ha	ha	ha
その他	ha	ha	ha	3 ha	0 ha	0 ha	ha	ha	ha

◆ 所有別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
国有地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
国有林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
林野庁所管	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
制限林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
保安林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
砂防指定地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
文部科学省所管	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
国有林以外の国有地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
環境省所管	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
地方公共団体所有地	0 ha	0 ha	0 ha	136 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
都道府県所有地	0 ha	0 ha	0 ha	136 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
制限林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
保安林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
砂防指定地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通林地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
市町村所有林地等	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
制限林地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
保安林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
砂防指定地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
私有地等	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
制限林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
保安林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
砂防指定地	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通林	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
公有水面	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
計	0 ha	0 ha	0 ha	136 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha

◆ 他法令による区

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積
自然環境保全法による地域	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
特別地域	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通地域	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
自然公園法による地域	0 ha	0 ha	0 ha	128 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
特別保護地区	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
特別地域	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
普通地域	0 ha	0 ha	0 ha	128 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
文化財保護法による地域*	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha

別表2 特別保護地区内に生息する鳥類リスト

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
27	カモ	カモ	オカヨシガモ					
32	カモ	カモ	カルガモ					
33	カモ	カモ	マガモ					
35	カモ	カモ	コガモ					
43	カモ	カモ	キンクロハジロ					
55	カモ	カモ	ホオジロガモ				EN	
56	カモ	カモ	ミコアイサ				EN	
64	キジ	キジ	キジ				NT	
65	キジ	キジ	ウズラ			VU	CR	
69	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				DD	
79	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT	
80	カッコウ	カッコウ	ホトトギス				NT	
82	カッコウ	カッコウ	ツツドリ				NT	
83	カッコウ	カッコウ	カッコウ				VU	
89	ハト	ハト	キジバト					
101	ツル	クイナ	オオバン				CR	
117	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				NT	
119	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ				*	
121	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ				NT	
315	カツオドリ	ウ	カワウ					
326	ペリカン	サギ	ミゾゴイ			VU	EN	
328	ペリカン	サギ	ゴイサギ				VU	
333	ペリカン	サギ	アオサギ					
335	ペリカン	サギ	ダイサギ					
336	ペリカン	サギ	チュウサギ			NT	NT	
337	ペリカン	サギ	コサギ				VU	
343	タカ	ミサゴ	ミサゴ			NT	EN	
352	タカ	タカ	ツミ				VU	
353	タカ	タカ	ハイタカ			NT	VU	
354	タカ	タカ	オオタカ			NT	VU	
359	タカ	タカ	トビ				NT	
363	タカ	タカ	サシバ			VU	CR	
366	タカ	タカ	ノスリ				VU	
367	フクロウ	フクロウ	アオバズク				CR	
371	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				EN	
377	フクロウ	フクロウ	フクロウ				EN	
384	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				EN	
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ					
394	キツツキ	キツツキ	アカゲラ				NT	

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
399	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				NT	
402	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ				VU	
407	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		希少	VU	CR	
411	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	CR	
419	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ				VU	
422	スズメ	モズ	チゴモズ			CR	CR	
424	スズメ	モズ	アカモズ		希少	EN	CR	
425	スズメ	モズ	モズ				NT	
427	スズメ	カラス	カケス					
429	スズメ	カラス	オナガ				NT	
435	スズメ	カラス	ハシボソガラス					
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス					
440	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ					
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ					
445	スズメ	シジュウカラ	コガラ					
447	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ					
450	スズメ	ヒバリ	ヒバリ				VU	
456	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ					
461	スズメ	ツバメ	ツバメ					
462	スズメ	ツバメ	イワツバメ				NT	
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*	
466	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				NT	
467	スズメ	エナガ	エナガ					
481	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ				VU	
484	スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ				VU	
497	スズメ	セッカ	セッカ				VU	
501	スズメ	メジロ	メジロ					
502	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ				VU	
503	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ				NT	
505	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT	
507	スズメ	ムクドリ	ムクドリ					
509	スズメ	ムクドリ	コムクドリ					
514	スズメ	ツグミ	トラツグミ				VU	
523	スズメ	ツグミ	クロツグミ				NT	
525	スズメ	ツグミ	マミチャジナイ					
526	スズメ	ツグミ	シロハラ					
527	スズメ	ツグミ	アカハラ					
539	スズメ	ヒタキ	オオルリ				NT	
550	スズメ	ヒタキ	キビタキ					

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
556	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ					
561	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ					
575	スズメ	スズメ	スズメ					
584	スズメ	セキレイ	キセキレイ					
585	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ					
586	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ				NT	
591	スズメ	セキレイ	ビンズイ					
595	スズメ	セキレイ	タヒバリ					
598	スズメ	アトリ	シメ					
600	スズメ	アトリ	イカル				NT	
602	スズメ	アトリ	ウソ				VU	
606	スズメ	アトリ	ベニマシコ				NT	
608	スズメ	アトリ	カワラヒワ					
618	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT	
622	スズメ	ホオジロ	ホオアカ					
625	スズメ	ホオジロ	カシラダカ				VU	
633	スズメ	ホオジロ	アオジ					
634	スズメ	ホオジロ	クロジ				EN	
637	スズメ	ホオジロ	オオジュリン				NT	
9	キジ	キジ	コジュケイ					
11	ハト	ハト	カワラバト					
25	スズメ	ソウシチョウ	ソウシチョウ					特定
26	スズメ	ソウシチョウ	ガビチョウ					特定
29	スズメ	ソウシチョウ	カオグロガビチョウ					特定
計	15目	40科	102種	0種	2種	11種	61種	3種

※1 「No.」及び「種名」は「日本鳥類目録改訂第8版」（令和6年9月日本鳥学会）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔鳥類〕」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅱ類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）－2020年見直し版－」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅰ類：CR+EN

絶滅危惧Ⅱ類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※※調査結果は現地調査及び文献調査による。現地調査は特別保護地区区内で実施。文献調査は特別保護地区の周辺を含む広域での調査結果による。

別表3 特別保護地区内に生息する獣類リスト

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
1	真無盲腸	モグラ	アズマモグラ					
2	翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ					
3	食肉	イヌ	タヌキ					
4	偶蹄	イノシシ	イノシシ					
計	4目	4科	4種	0種	0種	0種	0種	0種

※1 「No.」は通し番号

「種名」は「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」(日本哺乳類学会) (<https://www.mammalogy.jp/list/>) による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔哺乳類〕」(環境省編 2020年)

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A 類：CR、絶滅危惧 I B 類：EN、絶滅危惧 II 類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)－2020年見直し版－」西多摩ランク(東京都 2023年)

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A 類：CR、絶滅危惧 I B 類：EN、絶滅危惧 I 類：CR+EN

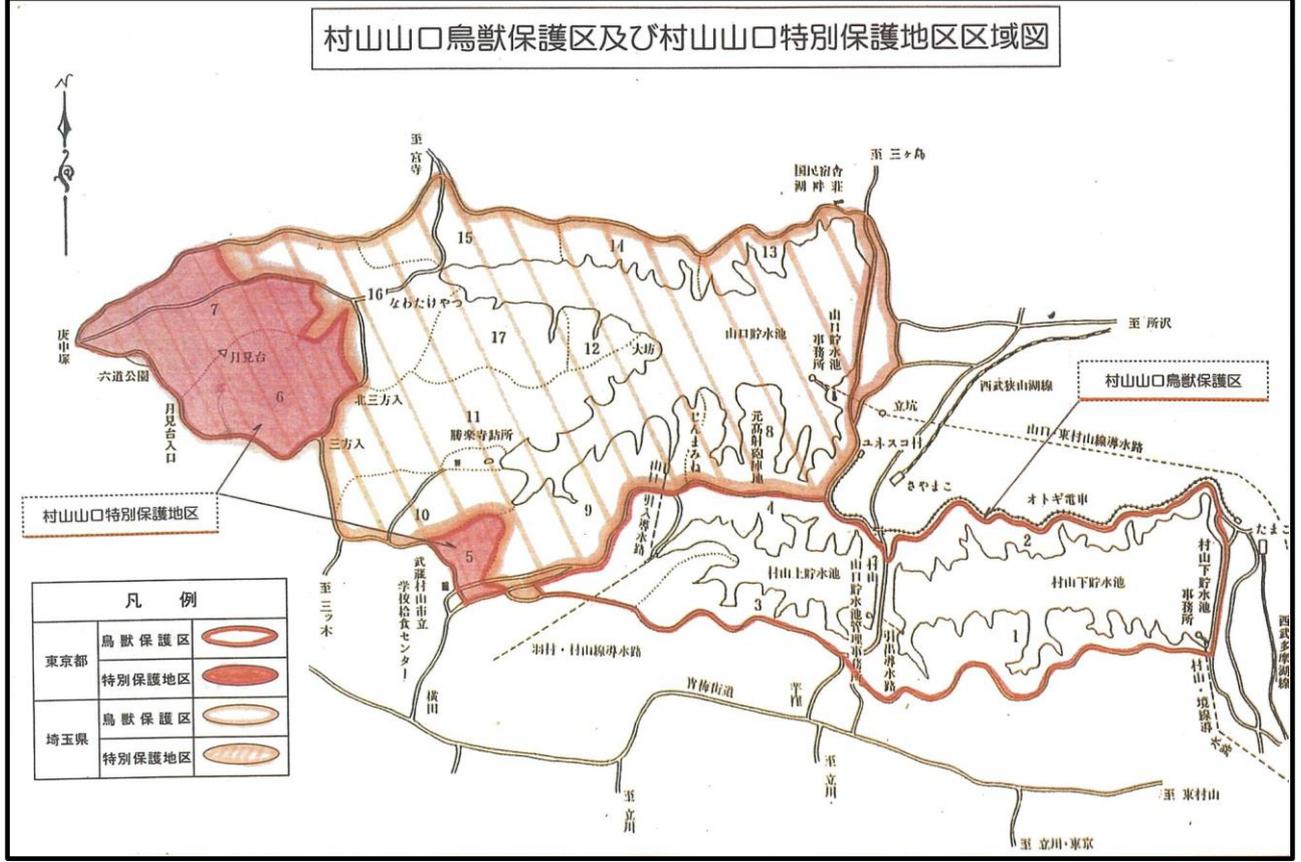
絶滅危惧 II 類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※※調査結果は現地調査及び文献調査による。現地調査は特別保護地区内で実施。文献調査は特別保護地区の周辺を含む広域での調査結果による。

村山山口鳥獣保護区及び村山山口特別保護地区区域図



鳥獣保護区及び鳥獣保護区特別保護地区について

1 概要

(1) 鳥獣保護区

東京都では、鳥獣の保護を図るため、必要があると認められる地域を鳥獣保護区に指定している。

令和7年11月現在、39箇所48,635ヘクタールの鳥獣保護区を指定している。

なお、鳥獣保護区では狩猟が禁止されている。

※根拠法令：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年7月12日付法律第88号）」第28条

(2) 鳥獣保護区特別保護地区

東京都では、鳥獣保護区の区域において、鳥獣の保護及びその生息地の保護を図るため、特に必要があると認められる地域を特別保護地区に指定している。

令和7年11月現在、8箇所2,887ヘクタールの特別保護地区を指定している。

なお、特別保護地区では、狩猟の禁止に加え、一定の開発行為も規制されている。

※根拠法令：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年7月12日付法律第88号）」第29条

<要許可行為>

- ・建築物その他工作物の新改増築
- ・水面の埋め立て又は干拓
- ・木竹の伐採 など

2 自然環境保全審議会との関係

(1) 鳥獣保護区

新規指定及び区域の拡張する時は、自然環境保全審議会への付議を要する。

(2) 鳥獣保護区特別保護地区

新規指定、区域の拡張及び存続期間を延長する時は、自然環境保全審議会への付議を要する。

村山山口鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査のみ

No.	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
27	カモ	カモ	オカヨシガモ								
32	カモ	カモ	カルガモ								
33	カモ	カモ	マガモ								
35	カモ	カモ	コガモ								
43	カモ	カモ	キンクロハジロ								
55	カモ	カモ	ホオジロガモ				EN				
56	カモ	カモ	ミコアイサ				EN				
64	キジ	キジ	キジ				NT				
65	キジ	キジ	ウズラ			VU	CR				
69	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				DD				
79	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT				
80	カッコウ	カッコウ	ホトトギス				NT		●		
82	カッコウ	カッコウ	ツツドリ				NT	●			
83	カッコウ	カッコウ	カッコウ				VU				
89	ハト	ハト	キジバト					●	●	●	
101	ツル	クイナ	オオバン				CR				
117	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				NT				
119	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ				*				
121	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ				NT				
315	カツオドリ	ウ	カワウ							●	
326	ペリカン	サギ	ミゾゴイ			VU	EN	●			
328	ペリカン	サギ	ゴイサギ				VU				
333	ペリカン	サギ	アオサギ					●		●	
335	ペリカン	サギ	ダイサギ					●			
336	ペリカン	サギ	チュウサギ			NT	NT				
337	ペリカン	サギ	コサギ				VU				
343	タカ	ミサゴ	ミサゴ			NT	EN				
344	タカ	タカ	ハチクマ			NT	CR				
352	タカ	タカ	ツミ				VU	●			
353	タカ	タカ	ハイタカ			NT	VU				
354	タカ	タカ	オオタカ			NT	VU			●	
359	タカ	タカ	トビ				NT			●	
363	タカ	タカ	サシバ			VU	CR				
366	タカ	タカ	ノスリ				VU				
367	フクロウ	フクロウ	アオバズク				CR	●			
371	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				EN				
377	フクロウ	フクロウ	フクロウ				EN	●			
384	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				EN				
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ					●	●	●	
394	キツツキ	キツツキ	アカゲラ				NT		●		

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					令和7年 度調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
399	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				NT		●		●
402	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ				VU				
405	ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ				DD				
407	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		希少	VU	CR				
411	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	CR		●		
419	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ				VU				
422	スズメ	モズ	チゴモズ			CR	CR				
424	スズメ	モズ	アカモズ		希少	EN	CR				
425	スズメ	モズ	モズ				NT				●
427	スズメ	カラス	カケス						●		●
429	スズメ	カラス	オナガ				NT				
435	スズメ	カラス	ハシボソガラス							●	
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス						●	●	●
440	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ								●
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ						●	●	●
445	スズメ	シジュウカラ	コガラ								●
447	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ						●	●	●
450	スズメ	ヒバリ	ヒバリ				VU				
456	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ						●	●	●
461	スズメ	ツバメ	ツバメ								
462	スズメ	ツバメ	イワツバメ				NT				
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*		●	●	●
466	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				NT				
467	スズメ	エナガ	エナガ						●	●	●
481	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ				VU				
484	スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ				VU				
497	スズメ	セッカ	セッカ				VU				
501	スズメ	メジロ	メジロ						●	●	●
502	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ				VU				●
503	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ				NT				●
505	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT				
507	スズメ	ムクドリ	ムクドリ						●		
509	スズメ	ムクドリ	コムクドリ								
514	スズメ	ツグミ	トラツグミ				VU				●
523	スズメ	ツグミ	クロツグミ				NT		●		
525	スズメ	ツグミ	マミチャジナイ						●		
526	スズメ	ツグミ	シロハラ							●	●
527	スズメ	ツグミ	アカハラ								●
531	スズメ	ツグミ	ツグミ							●	●
539	スズメ	ヒタキ	オオルリ				NT			●	
550	スズメ	ヒタキ	キビタキ						●	●	

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					令和7年 度調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
556	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ								●
561	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ								●
575	スズメ	スズメ	スズメ						●		●
584	スズメ	セキレイ	キセキレイ								●
585	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ							●	
586	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ				NT				
591	スズメ	セキレイ	ビンズイ								●
595	スズメ	セキレイ	タヒバリ								
598	スズメ	アトリ	シメ								●
600	スズメ	アトリ	イカル				NT				
602	スズメ	アトリ	ウソ				VU				
606	スズメ	アトリ	ベニマシコ				NT				●
608	スズメ	アトリ	カララヒワ								●
618	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT				●
622	スズメ	ホオジロ	ホオアカ								
625	スズメ	ホオジロ	カシラダカ				VU				●
633	スズメ	ホオジロ	アオジ						●		●
634	スズメ	ホオジロ	クロジ				EN				●
637	スズメ	ホオジロ	オオジュリン				NT				
9	キジ	キジ	コジュケイ						●		●
11	ハト	ハト	カララバト								
25	スズメ	ソウシチョウ	ソウシチョウ					特定			
26	スズメ	ソウシチョウ	ガビチョウ					特定	●	●	
29	スズメ	ソウシチョウ	カオグロガビチョウ					特定	●		
計	15目	40科	102種	0種	2種	11種	61種	3種	27種	19種	(37種)

* 令和7年度の冬の調査を実施中。今後結果を反映

* 平成17年度は鳥獣保護区全域の調査結果

村山山口鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（哺乳類） 現地調査のみ

No.	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
1	真無盲腸	モグラ	アズマモグラ							●	●
2	翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ								
3	食肉	イヌ	タヌキ						●		
4	偶蹄	イノシシ	イノシシ						●		
計				0種	0種	0種	0種	0種	2種	1種	(1種)

*令和7年度の冬の調査を実施中。今後結果を反映

*平成17年度は鳥獣保護区全域の調査結果

村山山口鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査及び文献調査

No.	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
27	カモ	カモ	オカヨシガモ						●	●	●
32	カモ	カモ	カルガモ						●	●	●
33	カモ	カモ	マガモ						●	●	●
35	カモ	カモ	コガモ						●	●	●
43	カモ	カモ	キンクロハジロ						●	●	●
55	カモ	カモ	ホオジロガモ				EN		●	●	●
56	カモ	カモ	ミコアイサ				EN		●	●	●
64	キジ	キジ	キジ				NT		●	●	●
65	キジ	キジ	ウスラ			VU	CR		●		●
69	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				DD		●	●	●
79	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT		●		●
80	カッコウ	カッコウ	ホトトギス				NT		●	●	●
82	カッコウ	カッコウ	ツツドリ				NT		●		●
83	カッコウ	カッコウ	カッコウ				VU		●	●	●
89	ハト	ハト	キジバト						●	●	●
101	ツル	クイナ	オオバン				CR		●		
117	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				NT		●	●	●
119	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ				*		●	●	●
121	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ				NT		●	●	●
315	カツオドリ	ウ	カワウ						●	●	●
326	ペリカン	サギ	ミンゴイ			VU	EN		●		
328	ペリカン	サギ	ゴイサギ				VU		●		●
333	ペリカン	サギ	アオサギ						●	●	●
335	ペリカン	サギ	ダイサギ						●		
336	ペリカン	サギ	チュウサギ			NT	NT		●		●
337	ペリカン	サギ	コサギ				VU		●	●	●
343	タカ	ミサゴ	ミサゴ			NT	EN		●	●	●
344	タカ	タカ	ハチクマ			NT	CR				
352	タカ	タカ	ツミ				VU		●		
353	タカ	タカ	ハイタカ			NT	VU		●	●	●
354	タカ	タカ	オオタカ			NT	VU		●	●	●
359	タカ	タカ	トビ				NT		●	●	●
363	タカ	タカ	サシバ			VU	CR		●	●	●
366	タカ	タカ	ノスリ				VU		●	●	●
367	フクロウ	フクロウ	アオバズク				CR		●		●
371	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				EN		●	●	●
377	フクロウ	フクロウ	フクロウ				EN		●	●	●
384	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				EN		●	●	●
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ						●	●	●
394	キツツキ	キツツキ	アカゲラ				NT		●	●	●

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
399	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				NT		●	●	●
402	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ				VU		●	●	●
405	ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ				DD				
407	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		希少	VU	CR		●	●	●
411	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	CR		●		●
419	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ				VU		●	●	●
422	スズメ	モズ	チゴモズ			CR	CR		●		●
424	スズメ	モズ	アカモズ		希少	EN	CR		●		●
425	スズメ	モズ	モズ				NT		●	●	●
427	スズメ	カラス	カケス						●	●	●
429	スズメ	カラス	オナガ				NT		●	●	●
435	スズメ	カラス	ハシボソガラス						●	●	●
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス						●	●	●
440	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ						●	●	●
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ						●	●	●
445	スズメ	シジュウカラ	コガラ						●	●	●
447	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ						●	●	●
450	スズメ	ヒバリ	ヒバリ				VU		●		●
456	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ						●	●	●
461	スズメ	ツバメ	ツバメ						●	●	●
462	スズメ	ツバメ	イロツバメ				NT		●	●	●
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*		●	●	●
466	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				NT		●	●	●
467	スズメ	エナガ	エナガ						●	●	●
481	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ				VU		●		●
484	スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ				VU		●		●
497	スズメ	セッカ	セッカ				VU		●		●
501	スズメ	メジロ	メジロ						●	●	●
502	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ				VU		●	●	●
503	スズメ	ミンサザイ	ミンサザイ				NT		●	●	●
505	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT		●		●
507	スズメ	ムクドリ	ムクドリ						●	●	●
509	スズメ	ムクドリ	コムクドリ						●		●
514	スズメ	ツグミ	トラツグミ				VU		●	●	●
523	スズメ	ツグミ	クロツグミ				NT		●	●	●
525	スズメ	ツグミ	マミチャジナイ						●		
526	スズメ	ツグミ	シロハラ						●	●	●
527	スズメ	ツグミ	アカハラ						●	●	●
531	スズメ	ツグミ	ツグミ							●	●
539	スズメ	ヒタキ	オオルリ				NT		●	●	
550	スズメ	ヒタキ	キビタキ						●	●	●

No. ^{*1}	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ^{*2}					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
556	スズメ	ヒタキ	ルリヒタキ						●	●	●
561	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ						●	●	●
575	スズメ	スズメ	スズメ						●	●	●
584	スズメ	セキレイ	キセキレイ						●	●	●
585	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ						●	●	●
586	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ				NT		●	●	●
591	スズメ	セキレイ	ビンズイ						●	●	●
595	スズメ	セキレイ	タヒバリ						●	●	●
598	スズメ	アトリ	シメ						●	●	●
600	スズメ	アトリ	イカル				NT		●	●	●
602	スズメ	アトリ	ウソ				VU		●	●	●
606	スズメ	アトリ	ベニマシロ				NT		●	●	●
608	スズメ	アトリ	カララヒワ						●	●	●
618	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT		●	●	●
622	スズメ	ホオジロ	ホオアカ						●		●
625	スズメ	ホオジロ	カシラダカ				VU		●	●	●
633	スズメ	ホオジロ	アオジ						●	●	●
634	スズメ	ホオジロ	クロジ				EN		●	●	●
637	スズメ	ホオジロ	オオジュリン				NT		●		●
9	キジ	キジ	コジュケイ						●	●	●
11	ハト	ハト	カララバト						●	●	●
25	スズメ	ソウシチョウ	ソウシチョウ					特定	●	●	●
26	スズメ	ソウシチョウ	ガビチョウ					特定	●	●	●
29	スズメ	ソウシチョウ	カオグロガビチョウ					特定	●		
計	15目	40科	102種	0種	2種	11種	61種	3種	102種	80種	(96種)

*令和7年度の冬の調査および文献調査を実施中。今後結果を反映

*平成17年度は鳥獣保護区全域の調査結果

村山山口鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（哺乳類） 現地調査及び文献調査

No.	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件					令和7年度 調査	平成28年 度調査	平成17年度調査 (鳥獣保護区全域)
				I	II	III	IV	V			
1	真無盲腸	モグラ	アズマモグラ						●	●	●
2	翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ						●		
3	食肉	イヌ	タヌキ						●	●	
4	偶蹄	イノシシ	イノシシ						●		
計				0種	0種	0種	0種	0種	4種	2種	(1種)

* 令和7年度の冬の調査および文献調査を実施中。今後結果を反映

* 平成17年度は獣類の文献調査なし

令和7年度
鳥獣保護区生息状況調査委託
中間報告書（抜粋）

令和7年11月

東京都環境局自然環境部計画課

株式会社 セルコ

1. 調査概要

(1) 調査対象

調査対象は鳥類及び哺乳類とした。

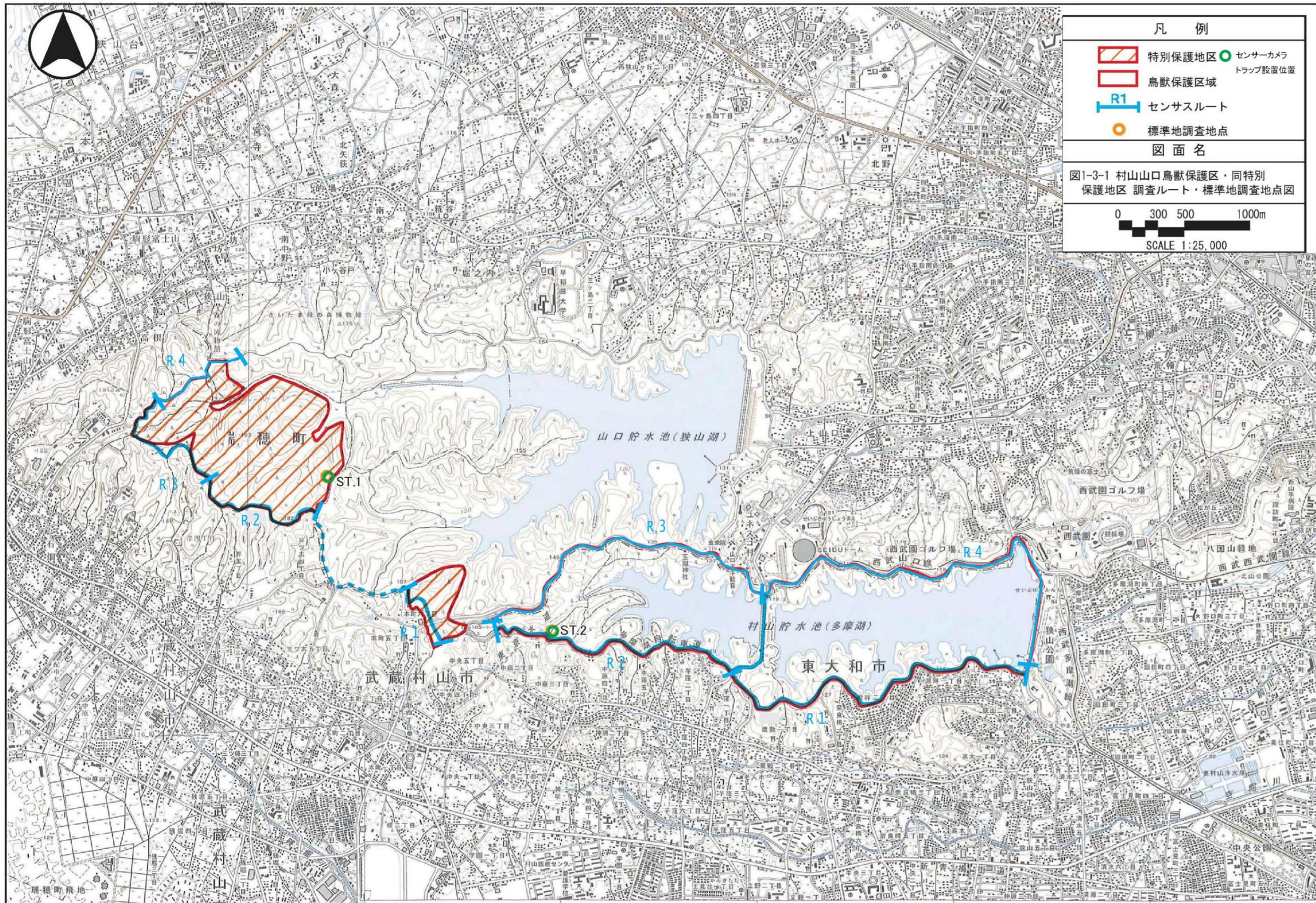
(2) 調査ルート及び地点等の設定

鳥獣保護区の鳥獣相を把握するため、調査対象鳥獣保護区において、都と協議のうえで表 1-3-1 に示す調査ルートを設定した。調査ルートの設定に際しては、地形の状況や周辺の土地利用、優占する植生の分布等を考慮し、生息する鳥獣の確認に支障を及ぼさない環境において、安全に現地調査が実施可能となるよう留意した。

なお、本調査では各調査ルートにおいて標準地調査地点を設け調査環境が多様になるよう配慮した。また、けもの道等においてセンサーカメラによる自動撮影調査を実施するとともに、夜行性鳥類を対象とした夜間調査とネズミ類を対象とした捕獲調査を実施した。各調査ルートの概要を表 1-3-1 に、各調査のルート及び設置地点などを図 1-3-1～図 1-3-9 に示す。

表 1-3-1 調査ルート一覧

調査対象 区域	ルート名
村山山口鳥獣保護区 特別保護地区	西多摩郡瑞穂町西部から村山山口鳥獣保護区同特別保護地区の外縁部に沿って野山北六道山公園の分岐点までの区間並びに武蔵村山市本町六丁目地先を通過するルート。 標準地調査は、コナラ群落を対象とする。
村山山口 鳥獣保護区	武蔵村山市中藤2丁目地先から村山貯水池南側を中心に、多摩湖自転車道に沿って狭山公園に至るルート。 標準地調査は、コナラ群落を対象とする。
多摩川 鳥獣保護区	多摩川中流域から多摩川左岸に沿って河口部に至るルート。 標準地調査は、ヨシ群落、セイバンモロコシ群落、オギ群落、コナラ群落、アラカシ群落を対象とする。
東京港 鳥獣保護区	東京港の港湾区域で、葛西臨海公園、若洲海浜公園、辰巳の森海浜公園、お台場海浜公園、大井ふ頭中央海浜公園、東京港野鳥公園の各公園内に設置したルート。 標準地調査は、海浜植生、植栽樹林群、シオクグ群落を対象とする。



(3) 現地調査

現地調査は、夏季に実施した。

調査日の設定にあたっては鳥獣相を的確に確認できるよう留意し、雨天・荒天を除く日の適切な時間帯(原則として早朝)に実施した。現地調査の実施に際しては調査地管理者に事前に必要な連絡調整を行った。

現地調査は当該調査に精通した複数の調査員により実施した。調査員は「日本鳥類目録改訂第8版(2024年9月13日, 日本鳥学会発行)」並びに「日本野生鳥獣目録」(平成14年7月環境省)記載の鳥類及び哺乳類をフィールドサインにより判別できる者とした。調査の実施状況は表1-3-2に示すとおりである。

表 1-3-2(1) 現地調査実施状況(村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区)

調査対象地域	季節	調査年月日	調査地点・ルート	調査内容	調査時間	天候
村山山口 鳥獣保護区 特別保護地区	夏季	R7.9.16	R1	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	5:45~9:20	曇
	夏季	R7.7.15	R1	鳥類調査(夜間調査)	19:00~21:45	曇
	夏季	R7.10.20~21	St.1	哺乳類調査(センサーカメラによる自動撮影) 哺乳類調査(ネズミ類捕獲調査)	13:30~12:40	曇
	夏季	R7.11.4	St.1	植生調査	13:30~14:30	晴
村山山口 鳥獣保護区	夏季	R7.10.3	R2	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	8:00~12:30	晴
	夏季	R7.7.11	R2	鳥類調査(夜間調査)	19:00~21:00	曇
	夏季	R7.10.20~21	St.2	哺乳類調査(センサーカメラによる自動撮影) 哺乳類調査(ネズミ類捕獲調査)	11:40~11:30	曇
	夏季	R7.11.4	St.2	植生調査	10:30~11:30	晴

1) 調査方法

a) 鳥類調査

鳥類調査は、ラインセンサス法並びに夜行性鳥類繁殖期の鳴き声の確認を目的とした夜間調査を実施した。その調査方法を表 1-3-3 に示す。

なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した鳥類についても記録するよう努めた。

表 1-3-3 鳥類調査

調査内容	調査方法	
ラインセンサス法	調査範囲内の地形の状況や優占する植生の分布等を考慮し、あらかじめ設定した調査ルート上を歩行速度 1.5km/h～2km/h 程度で歩きながら、一定の範囲内に出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種別や確認状況を記録した。	 <p data-bbox="1114 1039 1337 1070">ラインセンサス法</p>
夜間調査	夜間調査は、日没後 2 時間程度、ヨタカ、トラツグミ、フクロウ等が鳴く時期を目安とし、7 月～10 月に実施した。	 <p data-bbox="1166 1375 1283 1406">夜間調査</p>

b) 哺乳類調査

哺乳類調査は、任意観察、センサーカメラによる自動撮影及びネズミ類捕獲調査とし、その調査方法を表 1-3-4 に示す。なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した哺乳類についても記録するよう努めた。

表 1-3-4 哺乳類調査

調査内容	調査方法	
任意観察	<p>あらかじめ設定した調査ルートを踏査して、個体の目視確認及び主に大型・中型哺乳類のフィールドサイン（糞、足跡、食痕、掘り返し、爪痕及び塚等の生息痕跡）を確認した。痕跡を確認したら位置、種の推定等や写真撮影を行い記録した。</p>	 <p style="text-align: center;">任意観察</p>
センサーカメラによる自動撮影	<p>センサーカメラは、けものみちと想定される箇所付近の樹木等に設置した。10箇所に一晩設置した。</p>	 <p style="text-align: center;">センサーカメラ</p>
ネズミ類捕獲調査	<p>シャーマントラップおよびピットフォールトラップを使用してネズミ類を捕獲した。トラップの設置は全体で14箇所とし、1箇所あたり各トラップを10台ずつ設置、設置は一晩とした。誘引餌は落花生を用いた。採取したネズミ類は同定を行い、種名等を確認した後、放獣することとした。</p>	 <p style="text-align: center;">シャーマントラップ</p>  <p style="text-align: center;">ピットフォールトラップ</p>

(4) 現地調査とりまとめ

調査対象地域について、鳥獣調査の成果としてとりまとめ、以下第2章から第4章に調査結果と考察として示した。

各鳥獣の番号、目名、科名及び種名については、「日本鳥類目録（改定第8版）」（2024年9月13日，日本鳥学会）及び「世界哺乳類標準和名リスト2021年度版」（川田 他，2021）を参考にした。表中の選定基準に該当するものについては、該当するものの略称・記号を記載した。

第2章 調査結果と考察（村山山口鳥獣保護区及び同特別保護地区）

1. 標準地調査

標準地調査地点の植生群落一覧を表 2-1-1 に、標準地調査の結果を表 2-1-2～表 2-1-5 に示す。

表 2-1-1 標準地調査地点の植生群落一覧

調査対象地区	調査地点	調査年月日	群落名
村山山口鳥獣保護区 特別保護地区	St.1	令和7年11月4日	コナラ群落
村山山口鳥獣保護区	St.2	令和7年11月4日	コナラ群落

表 2-1-3 標準地植生調査 (村山山口鳥獣保護区 St.2)

群落組成調査票

No. 村山山口 St2		
調査地: 村山山口鳥獣保護区	調査年月日: 2025年11月4日	
地形: 斜面上部	日当: やや陽	風当: やや強
土壌: 黒ボク土	土性: シルト質壤土	土湿: やや乾燥
方位: N20W	傾斜: 22°	面積: 10 m × 10 m
標高: 160m	天候: 晴れ	種類数: 63
群落名: コナラ群落	緯度: N 35° 32' 41.25"	
鳥獣調査 (フィールドサインの有無): 確認できず	経度: E 139° 44' 08.28"	

階層	優占種	高さm	植被率%	胸高直径cm	種類数
I 高木層	コナラ	17	65	30	2
II 亜高木層	マルバアオダモ	10	40	-	7
III 低木層	ヒサカキ	5	60	-	35
IV 草本層	コウヤボウキ	1.5	60	-	40
V -	-	-	-	-	-

L	D・S	spp.	L	D・S	spp.	L	D・S	spp.
I	4・4	コナラ	III	+	ヤブムラサキ	IV	+	ヒイラギナンテン
	1・1	アカマツ		+	クサギ		+	ヤツデ
				+	カクレミノ		+	シラカシ
				+	シロダモ		+	モミ
				+	モッコク		+	ミツバアケビ
II	1・1	マルバアオダモ		+	テイカカズラ		+	イヌツゲ
	1・1	アオハダ		+	アオハダ		+	エゴノキ
	1・1	シラカシ		+	ネジキ		+	ゴンズイ
	1・1	リョウブ		+	ムクノキ		+	ヤブムラサキ
	1・1	エゴノキ		+	アカメガシワ		+	ムクノキ
	1・1	コナラ		+	サルトリイバラ		+	カンアオイ
	1・1	ウワミズザクラ		+	イロハモミジ		+	イヌシデ
				+	イヌザクラ		+	ノガリヤス
				+	アラカシ		+	ヤマノイモ
				+	ミヤマガマズミ		+	クスノキ
III	2・2	ヒサカキ	IV	2・2	コウヤボウキ		+	オオバギボウシ
	2・2	アズマネザサ		2・2	アズマネザサ		+	ヘクソカズラ
	1・1	エゴノキ		1・2	テイカカズラ		+	シュロ
	1・1	ウワミズザクラ		1・1	コアジサイ		+	アラカシ
	1・1	ノリウツギ		1・1	ナガバノコウヤボウキ		+	ベニシダ
	1・1	オトコヨウゾメ		1・1	コナラ			
	1・1	ツクバネウツギ		1・1	チゴユリ			
	1・1	リョウブ		1・1	アセビ			
	1・1	マルバアオダモ		1・1	ヤブコウジ			
	1・1	アセビ		+	イロハモミジ			
	1・1	ヤマウルシ		+	キツタ			
	1・1	イヌツゲ		+	ササクサ			
	+	アケビ		+	アオキ			
	+	ヤマノイモ		+	ヤマツツジ			
	+	シラカシ		+	カシワバハグマ			
	+	ウリカエデ		+	マンリョウ			
	+	コバノガマズミ		+	ナガバジャノヒゲ			
	+	ナツハゼ		+	バイカツツジ			
	+	ムラサキシキブ		+	サルトリイバラ			
	+	ネズミモチ		+	マルバアオダモ			



標準地調査地

2. 鳥獣調査

(1) 結果の概要

現地調査で確認された鳥獣（鳥類、哺乳類）の確認種数及び指定種の確認状況を表 2-2-1 に示す。

村山山口鳥獣保護区同特別保護地域内で、鳥類では、猛禽類としてツミ、アオバズク、フクロウの 3 種、水鳥としてミゾゴイ、アオサギ、ダイサギの 3 種、陸鳥としてツツドリ、キジバト、コゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、カケス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、クロツグミ、マミチャジナイ、キビタキ、スズメ、コジュケイ、ガビチョウ、カオグロガビチョウの 21 種が確認されている。

哺乳類では、大型哺乳類としてイノシシ 1 種、中型哺乳類としてタヌキ 1 種が確認されている。

自動撮影調査では、哺乳類は撮影されなかった。

ネズミ類の捕獲調査については、哺乳類は捕獲されなかった。

確認種の多くは樹林性の陸鳥類や猛禽類であり、サギ類等の水鳥類はやや少なく一時的に利用しているに過ぎなかった。

村山山口鳥獣保護区内で、鳥類では、猛禽類としてミサゴ、オオタカ、トビの 3 種、水鳥としてカワウとアオサギの 2 種、陸鳥としてホトトギス、キジバト、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、コサメビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、イカル、カワラヒワ、ガビチョウの 16 種が確認されている。

哺乳類では、小型哺乳類としてアズマモグラ 1 種が確認されている。

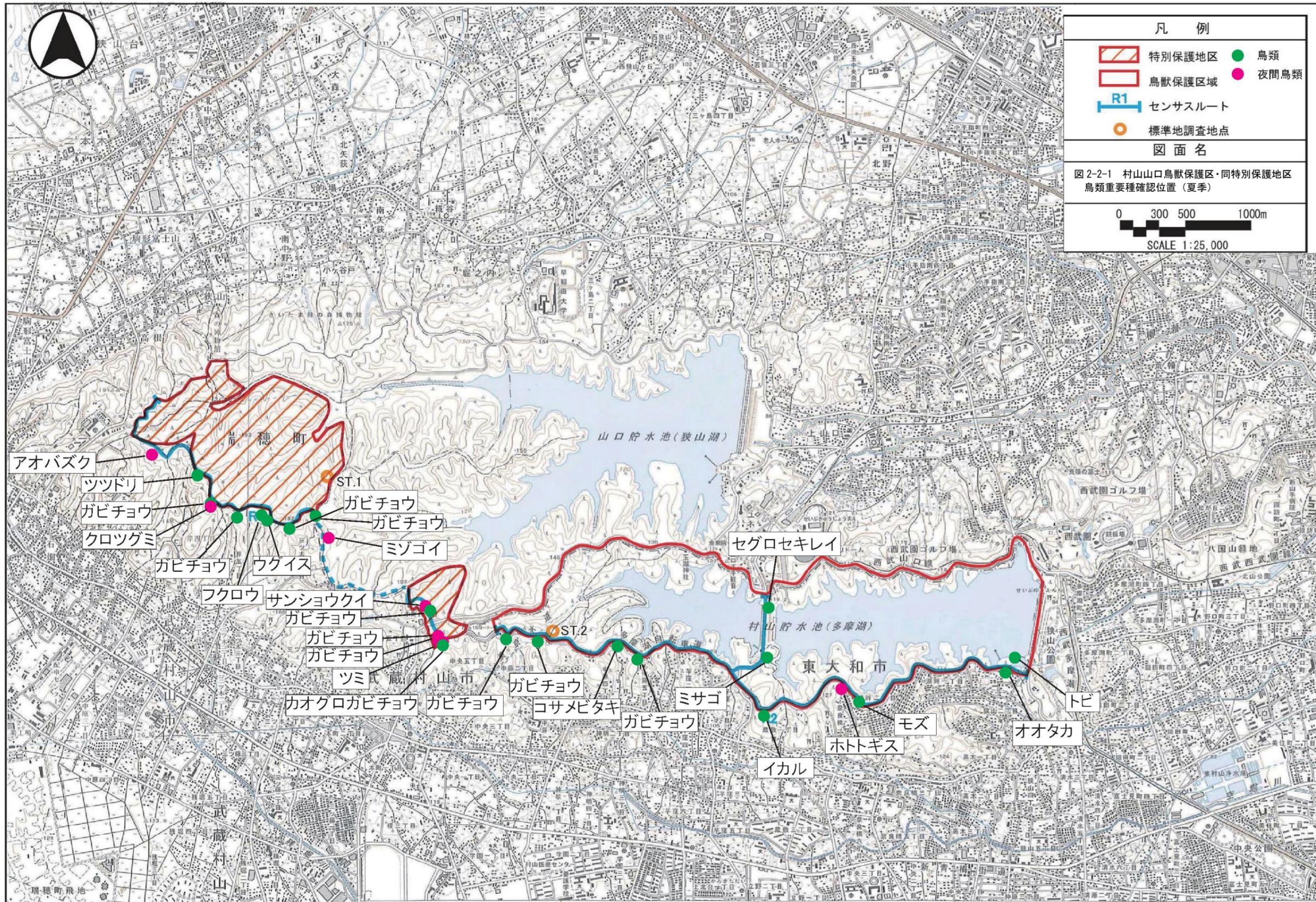
自動撮影調査では、哺乳類は撮影されなかった。

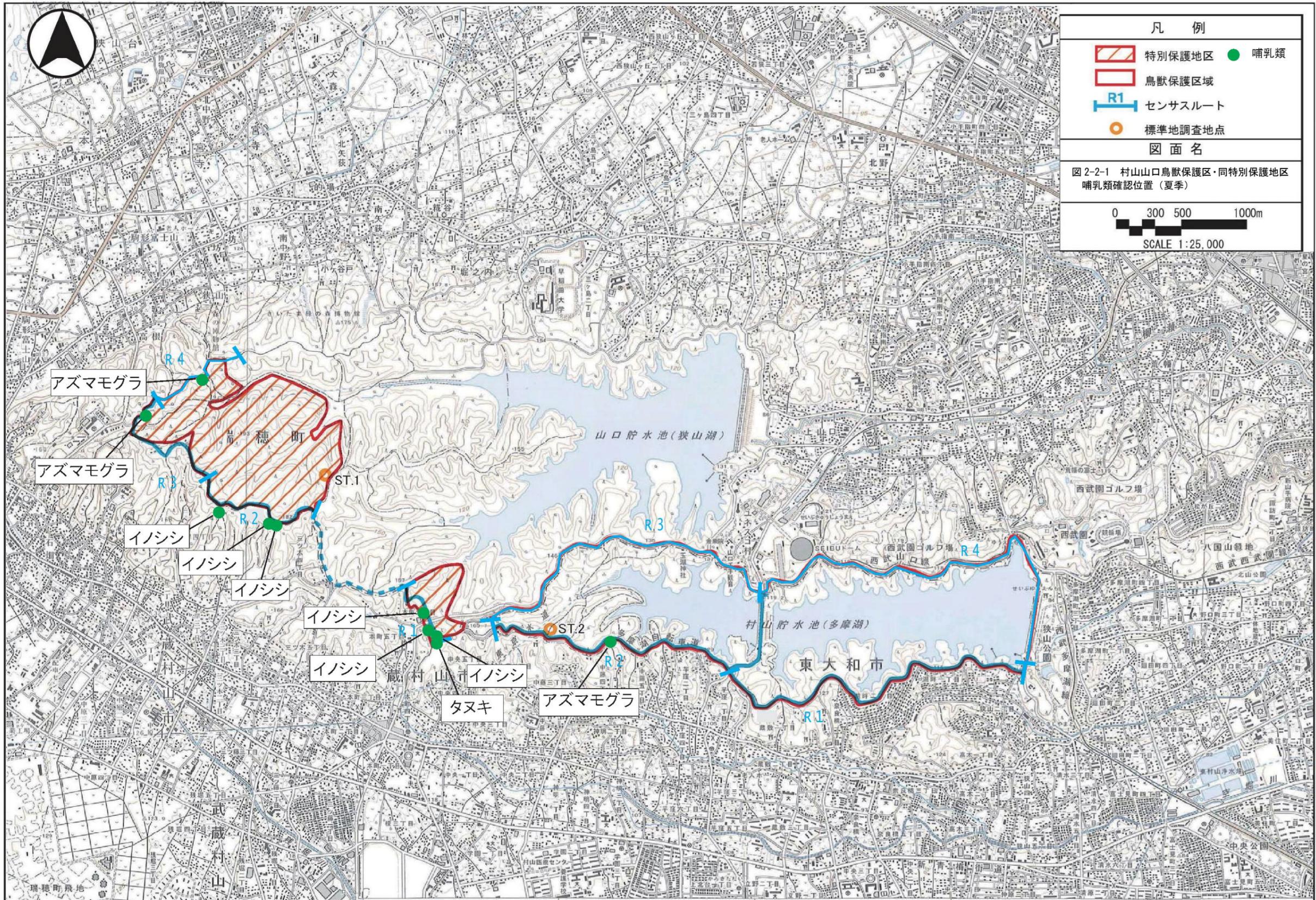
ネズミ類の捕獲調査については、哺乳類は捕獲されなかった。

現地調査で確認された各種の内、重要な種の選定に該当する指定種については確認位置図を図 2-2-1～図 2-2-2 に示す。

表 2-2-1 現地調査で確認された鳥獣確認種数及び指定種の確認状況
(村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区)

調査対象地域	ルート名	調査名	鳥類	哺乳類	指定種の確認状況
村山山口 鳥獣保護区 特別保護地 区	R1	ライン センサス法	21 種	2 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：6 種、哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 2 種
		夜間調査	11 種	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：6 種：哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 1 種
		ネズミ類 捕獲調査	-	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
		自動撮影 調査	-	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
村山山口 鳥獣保護区	R2	ライン センサス法	20 種	1 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：9 種：哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 1 種
		夜間調査	1 種	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：1 種：哺乳類：該当なし
		ネズミ類 捕獲調査	-	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
		自動撮影 調査	-	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし





凡 例	
	特別保護地区
	鳥獣保護区域
	センサスルート
	標準地調査地点
図 面 名	
図 2-2-1 村山山口鳥獣保護区・同特別保護地区 哺乳類確認位置 (夏季)	
0 300 500 1000m	
SCALE 1:25,000	

現地調査において確認された種のうち、指定種等の選定については以下の表 2-2-2 に示す内容に準拠した。

表 2-2-2 現地調査で確認された指定種等の選定の参考資料

(注 1) 鳥獣の配列 (No.) 及び目・科・種名は、鳥類については「日本鳥類目録 改訂第 8 版」(日本鳥学会、平成 24 年 9 月)、哺乳類については「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」(川田 他, 2021)に準拠した。

(注 2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- 1 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- 2 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 5 年、法律第 75 号)
際：国際希少野生動植物、内：国内希少野生動植物、緊：緊急指定種
- 3 「【鳥類】環境省レッドリスト (2020)」(令和 2 年、環境省)、「【哺乳類】環境省レッドリスト (2020)」(令和 2 年、環境省)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 4 「東京都レッドリスト (本土部) 2020 年見直し版」(令和 5 年 4 月、東京都環境局)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、
CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、
*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、・：非分布
- 5 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年、法律第 78 号) 特定：特定外来生物

(2) 調査結果（目録と指定種の確認位置）

鳥類及び哺乳類のルート別の調査結果（目録）を以下に示すとおり取りまとめた。

<ルートセンサス（夜間調査含む）村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区>

表 2-2-3 鳥類調査結果

表 2-2-4 哺乳類調査結果

<ルートセンサス（夜間調査含む）村山山口鳥獣保護区>

表 2-2-5 鳥類調査結果

表 2-2-6 哺乳類調査結果

<ネズミ類捕獲調査結果>

表 2-2-7 村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区

表 2-2-8 村山山口鳥獣保護区

<自動撮影調査結果>

表 2-2-9 村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区

表 2-2-10 村山山口鳥獣保護区

表 2-2-3 (1) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査	文献調査	備考	
					1	2	3	4	5				
27	カモ目	カモ科	オカヨシガモ	Mareca strepera (Linnaeus, 1758)								●	
32	カモ目	カモ科	カルガモ	Anas zonorhyncha Swinhoe, 1866								●	
33	カモ目	カモ科	マガモ	Anas platyrhynchos Linnaeus, 1758								●	
35	カモ目	カモ科	コガモ	Anas crecca Linnaeus, 1758								●	
43	カモ目	カモ科	キンクロハジロ	Aythya fuligula (Linnaeus, 1758)								●	
55	カモ目	カモ科	ホオジロガモ	Bucephala clangula (Linnaeus, 1758)					EN			●	
56	カモ目	カモ科	ミコアイサ	Mergellus albellus (Linnaeus, 1758)					EN			●	
64	キジ目	キジ科	キジ	Phasianus versicolor Vieillot, 1825					NT			●	
65	キジ目	キジ科	ウズラ	Coturnix japonica Temminck & Schlegel, 1849					VU	CR		●	
69	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	Apus pacificus (Latham, 1801)						DD		●	
80	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	Hierococcyx hyperythrus (Gould, 1856)					NT			●	
81	カッコウ目	カッコウ科	ホトギス	Cuculus poliocephalus Latham, 1790					NT			●	
83	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ	Cuculus ophatus Gould, 1845					NT		●	●	
84	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ	Cuculus canorus Linnaeus, 1758					VU			●	
90	ハト目	ハト科	キジバト	Streptopelia orientalis (Latham, 1790)							●	●	
102	ツル目	クイナ科	オオバン	Fulica atra Linnaeus, 1758					CR			●	
118	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis (Pallas, 1764)					NT			●	
120	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus (Linnaeus, 1758)					*②			●	
122	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ	Podiceps nigricollis Brehm, 1831					NT			●	
316	カツオドリ目	ウ科	カワウ	Phalacrocorax carbo (Linnaeus, 1758)								●	
327	ペリカン目	サギ科	ミンゴイ	Gorsachius goisagi (Temminck, 1836)					VU	EN	●	●	夜間のみ
329	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	Nycticorax nycticorax (Linnaeus, 1758)					VU			●	
334	ペリカン目	サギ科	アオサギ	Ardea cinerea Linnaeus, 1758							●	●	夜間のみ
336	ペリカン目	サギ科	ダイサギ	Ardea alba Linnaeus, 1758					○		●	●	夜間のみ
337	ペリカン目	サギ科	チュウサギ	Ardea intermedia Wagler, 1829					NT	NT		●	
338	ペリカン目	サギ科	コサギ	Egretta garzetta (Linnaeus, 1766)					VU			●	
343	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	Pandion haliaetus (Linnaeus, 1758)					NT	EN		●	
354	タカ目	タカ科	ハイタカ	Accipiter nisus (Linnaeus, 1758)					NT	VU		●	
355	タカ目	タカ科	オオタカ	Accipiter gentilis (Linnaeus, 1758)					NT	VU		●	
360	タカ目	タカ科	トビ	Milvus migrans (Boddaert, 1783)					NT			●	
353	タカ目	タカ科	ツミ	Accipiter gularis (Temminck & Schlegel, 1845)					VU		●	●	夜間のみ
364	タカ目	タカ科	サンバ	Butastur indicus (Gmelin, 1788)					VU	CR		●	
367	タカ目	タカ科	ノスリ	Buteo japonicus Temminck & Schlegel, 1844					VU			●	
368	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	Ninox japonica (Temminck & Schlegel, 1845)					CR		●	●	夜間含む
372	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク	Orus semitorques Temminck & Schlegel, 1844					EN			●	
378	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	Strix uralensis Pallas, 1771					EN		●	●	
385	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	Alcedo atthis (Linnaeus, 1758)					NT			●	
391	キツツキ目	キツツキ科	コガラ	Yungipicus kizuki (Temminck, 1835)							●	●	
395	キツツキ目	キツツキ科	アカガラ	Dendrocopos major (Linnaeus, 1758)					NT			●	
400	キツツキ目	キツツキ科	アオガラ	Picus awokera Temminck, 1836					NT		●	●	
403	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	Falco tinnunculus Linnaeus, 1758					VU			●	
408	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	Falco peregrinus Tunstall, 1771					希少	VU	CR	●	
412	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	Pericrocotus divaricatus (Raffles, 1822)					VU	CR	●	●	夜間のみ
420	スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	Terpsiphone atrocaudata (Eyton, 1839)					VU			●	
423	スズメ目	モズ科	チゴモズ	Lanius tigrinus Drapiez, 1828					CR	CR		●	
425	スズメ目	モズ科	アカモズ	Lanius cristatus Linnaeus, 1758					希少	EN	CR	●	
426	スズメ目	モズ科	モズ	Lanius bucephalus Temminck & Schlegel, 1845					NT			●	
428	スズメ目	カラス科	カケス	Garrulus glandarius (Linnaeus, 1758)							●	●	
430	スズメ目	カラス科	オナガ	Cyanopica cyanus (Pallas, 1776)					NT			●	
436	スズメ目	カラス科	ハシボンガラス	Corvus corone Linnaeus, 1758								●	
437	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos Wagler, 1827							●	●	
441	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ	Periparus ater (Linnaeus, 1758)								●	
443	スズメ目	シジュウカラ科	ヤマガラ	Sittiparus varius (Temminck & Schlegel, 1845)					○		●	●	
446	スズメ目	シジュウカラ科	コガラ	Poecile montanus (Conrad von Balenstein, 1827)								●	
448	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ	Parus cinereus Vieillot, 1818							●	●	
451	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	Alauda arvensis Linnaeus, 1758					VU			●	
457	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis (Temminck, 1830)							●	●	夜間含む
462	スズメ目	ツバメ科	ツバメ	Hirundo rustica Linnaeus, 1758								●	
463	スズメ目	ツバメ科	イワツバメ	Delichon dasypus (Bonaparte, 1850)					NT			●	
465	スズメ目	ウグイス科	ウグイス	Horornis diphone (Kittlitz, 1830)					*①		●	●	
467	スズメ目	ウグイス科	ヤブサメ	Urosphena squameiceps (Swinhoe, 1863)					NT			●	
468	スズメ目	エナガ科	エナガ	Aegithalos caudatus (Linnaeus, 1758)							●	●	
482	スズメ目	ムシクイ科	メボソムシクイ	Phylloscopus xanthodryas (Swinhoe, 1863)					VU			●	
485	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ	Acrocephalus orientalis (Temminck & Schlegel, 1847)					VU			●	

表 2-2-3 (2) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏	冬		
498	スズメ目	セッカ科	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i> (Rafinesque, 1810)				VU			●		
502	スズメ目	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> Temminck & Schlegel, 1845						●	●		
503	スズメ目	キクイタダキ科	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i> (Linnaeus, 1758)				VU			●		
504	スズメ目	ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus, 1758)				NT			●		
506	スズメ目	キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus, 1758				NT			●		
508	スズメ目	ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i> (Temminck, 1835)						●	●		
510	スズメ目	ムクドリ科	コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i> (Pennant, 1781)							●		
515	スズメ目	ツグミ科	トラツグミ	<i>Zoothera aurea</i> (Hollander, 1825)				VU			●		
524	スズメ目	ツグミ科	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck, 1831				NT		●	●	夜間のみ	
526	スズメ目	ツグミ科	マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i> Gmelin, 1789						●	●		
527	スズメ目	ツグミ科	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin, 1789							●		
528	スズメ目	ツグミ科	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck, 1832							●		
540	スズメ目	ヒタキ科	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (Temminck, 1829)				NT			●		
551	スズメ目	ヒタキ科	キビタキ	<i>Ficedula narsissina</i> (Temminck, 1836)						●	●	夜間含む	
557	スズメ目	ヒタキ科	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (Pallas, 1773)							●		
562	スズメ目	ヒタキ科	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i> (Pallas, 1776)							●		
576	スズメ目	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i> (Linnaeus, 1758)						●	●	夜間含む	
585	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall, 1771							●		
586	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus, 1758							●		
587	スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i> Sharpe, 1885				NT			●		
592	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond, 1907							●		
596	スズメ目	セキレイ科	タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i> (Tunstall, 1771)							●		
599	スズメ目	アトリ科	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i> (Linnaeus, 1758)							●		
601	スズメ目	アトリ科	イカル	<i>Eophona personata</i> (Temminck & Schlegel, 1845)				NT			●		
603	スズメ目	アトリ科	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus, 1758)				VU			●		
607	スズメ目	アトリ科	ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i> (Pallas, 1773)				NT			●		
609	スズメ目	アトリ科	カワラヒフ	<i>Chloris sinica</i> (Linnaeus, 1766)							●		
619	スズメ目	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt, 1843				NT			●		
623	スズメ目	ホオジロ科	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas, 1776							●		
626	スズメ目	ホオジロ科	カンラダカ	<i>Emberiza rustica</i> Pallas, 1776				VU			●		
634	スズメ目	ホオジロ科	アオジ	<i>Emberiza personata</i> Temminck, 1836							●		
635	スズメ目	ホオジロ科	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i> Temminck, 1836				EN			●		
638	スズメ目	ホオジロ科	オオジョリ	<i>Emberiza schoeniclus</i> (Linnaeus, 1758)				NT			●		
654	キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i> (Temminck, 1815)						●	●		
656	ハト目	ハト科	カワラバト(トバト)	<i>Columba livia</i> Gmelin, 1789							●		
670	スズメ目	ソウシチョウ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)					特定		●		
671	スズメ目	ソウシチョウ科	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i> (Linnaeus, 1758)					特定	●	●	夜間含む	
674	スズメ目	ソウシチョウ科	カオグロガビチョウ	<i>Prerorhinus perspicillatus</i> (Gmelin, 1789)					特定	●	●		
計	15目	40科		102種	0種	2種	11種	61種	3種	27種	0種	96種	11種

※鳥獣の配列 (No.) 及び目・科・種名は、「日本鳥類目録 (改定第 8 版)」(2024 年 9 月 13 日, 日本鳥学会) に準拠した。

注) 重要な種の選定基準は以下の通りである。

- 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 5 年、法律第 75 号)
際：国際希少野生動植物、内：国内希少野生動植物、緊：緊急指定種
- 【鳥類】環境省レッドリスト (2020) (令和 2 年、環境省)
EX：絶滅、EX：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 IB 類、CR+EN：絶滅危惧 I 類、
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 「レッドデータブック東京 2023～東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) 解説版～」(令和 5 年 3 月、東京都環境局自然環境部)
EX：絶滅、EX：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 IB 類、CR+EN：絶滅危惧 I 類、
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、
・：非分布
- 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年、法律第 78 号)
特定：特定外来生物

(参考文献)

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書 (平成 18 年 3 月)

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書 (平成 29 年 3 月)

表 2-2-4 哺乳類調査結果（村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
1	真無盲腸目	モグラ科	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>								●	
2	翼手目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>								●	
3	食肉目	イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>						●			
4	偶蹄目	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>						●			
計	4目	4科	4種		0種	0種	0種	0種	0種	2種	0種	2種	

分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他, 2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

表 2-2-5 (1) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の決定基準					現地調査 観察	文献調査 調査	備考	
					1	2	3	4	5				
27	カモ目	カモ科	オカシガモ	Mareca strepera (Linnaeus, 1758)								●	
32	カモ目	カモ科	カルガモ	Anas zonorhyncha Swinhoe, 1866								●	
33	カモ目	カモ科	マガモ	Anas platyrhynchos Linnaeus, 1758								●	
35	カモ目	カモ科	コガモ	Anas crecca Linnaeus, 1758								●	
43	カモ目	カモ科	キンクロハジロ	Aythya fuligula (Linnaeus, 1758)								●	
55	カモ目	カモ科	ホオヅロガモ	Bucephala clangula (Linnaeus, 1758)					EN			●	
56	カモ目	カモ科	ミコアイサ	Mergellus albellus (Linnaeus, 1758)					EN			●	
64	キジ目	キジ科	キジ	Phasianus versicolor Vieillot, 1825					NT			●	
65	キジ目	キジ科	ウズラ	Coturnix japonica Temminck & Schlegel, 1849				VU	CR			●	
69	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	Apus pacificus (Latham, 1801)					DD			●	
80	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	Hierococcyx hyperythrus (Gould, 1856)					NT			●	
81	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	Cuculus poliocephalus Latham, 1790					NT	●		●	夜間のみ
83	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ	Cuculus optatus Gould, 1845					NT			●	
84	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ	Cuculus canorus Linnaeus, 1758					VU			●	
90	ハト目	ハト科	キジバト	Streptopelia orientalis (Latham, 1790)						●		●	
102	ツル目	ツル科	オオハシ	Fulica atra Linnaeus, 1758					CR			●	
118	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis (Pallas, 1764)					NT			●	
120	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus (Linnaeus, 1758)					*②			●	
122	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ	Podiceps nigricollis Brehm, 1831					NT			●	
316	カイツブリ目	ウ科	カワウ	Phalacrocorax carbo (Linnaeus, 1758)						●		●	
329	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	Nycticorax nycticorax (Linnaeus, 1758)					VU			●	
334	ペリカン目	サギ科	アオサギ	Ardea cinerea Linnaeus, 1758						●		●	
337	ペリカン目	サギ科	チュウサギ	Ardea intermedia Wagler, 1829				NT	NT			●	
338	ペリカン目	サギ科	コサギ	Egretta garzetta (Linnaeus, 1766)					VU			●	
344	タカ目	ミサコ科	ミサコ	Pandion haliaetus (Linnaeus, 1758)				NT	EN	●		●	
354	タカ目	タカ科	ハイタカ	Accipiter nisus (Linnaeus, 1758)					NT	VU		●	
355	タカ目	タカ科	オオタカ	Accipiter gentilis (Linnaeus, 1758)				NT	VU	●		●	
360	タカ目	タカ科	トビ	Milvus migrans (Boddaert, 1783)					NT	●		●	
364	タカ目	タカ科	サンバ	Butastur indicus (Gmelin, 1788)					VU	CR		●	
367	タカ目	タカ科	ノスリ	Buteo japonicus Temminck & Schlegel, 1844					VU			●	
368	ブクロウ目	ブクロウ科	アオバズク	Ninox japonica (Temminck & Schlegel, 1845)					CR			●	
372	ブクロウ目	ブクロウ科	オオノハズク	Otus semitorques Temminck & Schlegel, 1844					EN			●	
378	ブクロウ目	ブクロウ科	フクロウ	Strix uralensis Pallas, 1771					EN			●	
385	ブツボウソウ目	カワセミ科	カワセミ	Alcedo atthis (Linnaeus, 1758)					NT			●	
391	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	Yungipicus kizuki (Temminck, 1835)						●		●	
395	キツツキ目	キツツキ科	アカガラ	Dendrocopos major (Linnaeus, 1758)					NT			●	
400	キツツキ目	キツツキ科	アオガラ	Picus avokera Temminck, 1836					NT			●	
403	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	Falco tinnunculus Linnaeus, 1758					VU			●	
408	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	Falco peregrinus Tunstall, 1771				希少	VU	CR		●	
420	スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	Terpsiphone atrocaudata (Eyton, 1839)						VU		●	
423	スズメ目	モズ科	チゴモズ	Lanius tigrinus Drapiez, 1828					CR	CR		●	
425	スズメ目	モズ科	アカモズ	Lanius cristatus Linnaeus, 1758				希少	EN	CR		●	
426	スズメ目	モズ科	モズ	Lanius bucephalus Temminck & Schlegel, 1845						NT	●	●	
428	スズメ目	カラス科	カケス	Garrulus glandarius (Linnaeus, 1758)								●	
430	スズメ目	カラス科	オナガ	Cyanopica cyanus (Pallas, 1776)						NT		●	
436	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	Corvus corone Linnaeus, 1758							●	●	
437	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos Wagler, 1827								●	
441	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ	Periparus ater (Linnaeus, 1758)								●	
443	スズメ目	シジュウカラ科	ヤマガラ	Sittiparus varius (Temminck & Schlegel, 1845)					○		●	●	
446	スズメ目	シジュウカラ科	コガラ	Poecile montanus (Conrad von Baldenstein, 1827)								●	
448	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ	Parus cinereus Vieillot, 1818							●	●	
451	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	Alauda arvensis Linnaeus, 1758					VU			●	
457	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis (Temminck, 1830)							●	●	
462	スズメ目	ツバメ科	ツバメ	Hirundo rustica Linnaeus, 1758								●	
463	スズメ目	ツバメ科	イワツバメ	Delichon dasypus (Bonaparte, 1850)					NT			●	
465	スズメ目	ウグイス科	ウグイス	Horornis diphone (Kittlitz, 1830)					*④		●	●	
467	スズメ目	ウグイス科	ヤブサメ	Urosphena squameiceps (Swinhoe, 1863)					NT			●	
468	スズメ目	エナガ科	エナガ	Aegithalos caudatus (Linnaeus, 1758)								●	
482	スズメ目	ムシクイ科	メボソムシクイ	Phylloscopus xanthodryas (Swinhoe, 1863)					VU			●	
485	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ	Acrocephalus orientalis (Temminck & Schlegel, 1847)					VU			●	
498	スズメ目	セッカ科	セッカ	Cisticola juncidis (Rafinesque, 1810)					VU			●	
502	スズメ目	メジロ科	メジロ	Zosterops japonicus Temminck & Schlegel, 1845							●	●	
503	スズメ目	キカイダギ科	キカイダギ	Regulus regulus (Linnaeus, 1758)					VU			●	
504	スズメ目	ミンサザイ科	ミンサザイ	Troglodytes troglodytes (Linnaeus, 1758)					NT			●	
506	スズメ目	キバシリ科	キバシリ	Certhia familiaris Linnaeus, 1758						NT		●	
508	スズメ目	ムクドリ科	ムクドリ	Spodiopsar cinereus (Temminck, 1835)								●	
510	スズメ目	ムクドリ科	コムクドリ	Agropsar philippensis (Pennant, 1781)								●	
515	スズメ目	ツグミ科	トラツグミ	Zoothera aurea (Holandre, 1825)					VU			●	
524	スズメ目	ツグミ科	クロツグミ	Turdus cardis Temminck, 1831					NT			●	

表 2-2-5 (2) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考	
					1	2	3	4	5	夏季	冬季			
527	スズメ目	ツグミ科	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin, 1789									●	
528	スズメ目	ツグミ科	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck, 1832									●	
538	スズメ目	ヒタキ科	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> Pallas, 1811					VU		●			
540	スズメ目	ヒタキ科	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (Temminck, 1829)					NT				●	
551	スズメ目	ヒタキ科	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i> (Temminck, 1836)									●	
557	スズメ目	ヒタキ科	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (Pallas, 1773)									●	
562	スズメ目	ヒタキ科	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i> (Pallas, 1776)									●	
576	スズメ目	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i> (Linnaeus, 1758)									●	
585	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall, 1771									●	
586	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus, 1758							●		●	
587	スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i> Sharpe, 1885					NT		●		●	
592	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond, 1907									●	
596	スズメ目	セキレイ科	タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i> (Tunstall, 1771)									●	
599	スズメ目	アトリ科	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i> (Linnaeus, 1758)									●	
601	スズメ目	アトリ科	イカル	<i>Eophona personata</i> (Temminck & Schlegel, 1845)					NT		●		●	
603	スズメ目	アトリ科	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus, 1758)					VU				●	
607	スズメ目	アトリ科	ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i> (Pallas, 1773)					NT				●	
609	スズメ目	アトリ科	カララヒバ	<i>Chloris sinica</i> (Linnaeus, 1766)							●		●	
619	スズメ目	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt, 1843					NT				●	
623	スズメ目	ホオジロ科	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas, 1776									●	
626	スズメ目	ホオジロ科	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i> Pallas, 1776					VU				●	
634	スズメ目	ホオジロ科	アオジ	<i>Emberiza personata</i> Temminck, 1836									●	
635	スズメ目	ホオジロ科	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i> Temminck, 1836					EN				●	
638	スズメ目	ホオジロ科	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i> (Linnaeus, 1758)					NT				●	
654	キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i> (Temminck, 1815)									●	
656	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i> Gmelin, 1789									●	
670	スズメ目	ソウシチョウ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)						特定			●	
671	スズメ目	ソウシチョウ科	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i> (Linnaeus, 1758)						特定	●		●	
計	15目	39科		97種	0種	2種	9種	58種	2種	21種	0種	96種	1種	

※鳥獣の配列 (No.) 及び目・科・種名は、「日本鳥類目録 (改定第 8 版)」(2024 年 9 月 13 日, 日本鳥学会) に準拠した。

注) 重要な種の選定基準は以下の通りである。

1 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

2 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 5 年、法律第 75 号)

際：国際希少野生動植物、内：国内希少野生動植物、緊：緊急指定種

3 「【鳥類】環境省レッドリスト (2020)」(令和 2 年、環境省)

EX：絶滅、EX：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 IB 類、CR+EN：絶滅危惧 I 類、

VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

4 「レッドデータブック東京 2023～東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) 解説版～」(令和 5 年 3 月、東京都環境局自然環境部)

EX：絶滅、EX：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 IB 類、CR+EN：絶滅危惧 I 類、

VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、

・：非分布

5 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年、法律第 78 号)

特定：特定外来生物

(参考文献)

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書 (平成 18 年 3 月)

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書 (平成 29 年 3 月)

表 2-2-6 哺乳類調査結果（村山山口鳥獣保護区 ルートセンサス）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
18	真無盲腸目	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>				○		●			
38	翼手目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>							●		
計	2目	2科	2種		0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種	1種	

※ 「No.」については「日本野生鳥獣目録」（環境省自然環境局野生生物課、平成 14 年 7 月）に準拠した。
分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他，2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

表 2-2-7 哺乳類調査結果

（村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区 ネズミ類捕獲調査結果）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
										捕獲無し		
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

※ 「No.」については「日本野生鳥獣目録」（環境省自然環境局野生生物課、平成 14 年 7 月）に準拠した。
分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他，2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

表 2-2-8 哺乳類調査結果

（村山山口鳥獣保護区 ネズミ類捕獲調査結果）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
										捕獲無し	—	
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

※ 「No.」については「日本野生鳥獣目録」（環境省自然環境局野生生物課、平成 14 年 7 月）に準拠した。
分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他，2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

表 2-2-9 哺乳類調査結果（村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区 自動撮影調査結果）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
											撮影無し	
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

※ 「No.」については「日本野生鳥獣目録」（環境省自然環境局野生生物課、平成 14 年 7 月）に準拠した。
分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他，2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

表 2-2-10 哺乳類調査結果（村山山口鳥獣保護区 自動撮影調査結果）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
											撮影無し	
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

※ 「No.」については「日本野生鳥獣目録」（環境省自然環境局野生生物課、平成 14 年 7 月）に準拠した。
分類及び名称については「世界哺乳類標準和名リスト」（川田 他，2021）に準拠した。

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）